

母校創立 120 周年記念募金スタート！

上田で同期世話役が打ち合わせ（8月17日）

先日、上田高校同窓会報第53号「古城の門」が同窓生の皆さんに送られ、その中に母校創立120周年記念事業の詳細文書が同封されている。特に記念募金については、その趣意書にもあるように、古城の門にはなくてはならない堀の浚渫（しゅんせつ）がその主な使途となっている。

8月17日（土）、上田で同期の世話役が集まり、募金の進め方や今後の同期会の開催について話し合った。顔ぶれは、65期代表幹事で同窓会代表代議員の布施修一郎（6組）、同代議員小山田秀士（7）、同代議員若林健（9）、120周年記念事業の一つ、校史編纂委員長の小山壽一（2）、記念事業実行副委員長で関東同期代表幹事の上原昇（2）の5名。

話し合った内容は以下の通り。

1. 120周年記念募金について

- ・3年前の卒後50年記念で行った募金活動に準じ、65期に割り当てられた目標金額80万円の達成に向け、同期に対して早めの募金を促す。

（参考：卒後50年記念募金実績は190名、136万円）

- ・会報「古城の門」に“65期の皆様に”という寄附お願いのチラシを封入したが、改めてメールを使って協力依頼文を個別に発信する予定

2. 同期会の開催

- ・来年（2020年）は120周年関連イベントを優先させ、65期同期会は再来年（2021年）、卒後55年記念同期会として上田で開催する。

（なお、母校創立120周年記念式典は、来年10月24日（土）上田で開催の予定）

（2019年8月20日、上原記）

【写真：同期世話役会：左から小山、若林、小山田、上原、布施】

